

1. 顔面神経支配ではない筋肉はどれか

- a. 笑筋
- b. 前頭筋
- c. 側頭筋
- d. 眼輪筋
- e. 口角下制筋

2. Le Fort I 型骨折について正しいのはどれか

- a. 咬合異常を伴う
- b. 眼球運動障害を伴う
- c. 髄液鼻漏が生じ易い
- d. 鼻出血をみることは少ない
- e. Le Fort II・III型が合併することはない

3. 下顎骨体部骨折で、骨折の状態が最も分かりやすいX線撮影法はどれか

a. Towne法

b. Waters法

c. 頬骨軸位法

d. Fueger I 法

e. オルソパントモグラフィ

4. 頭蓋骨縫合早期癒合症を 伴わないものはどれか

- a. 短頭
- b. 船状頭
- c. Apert症候群
- d. Crouzon症候群
- e. Sturge-Weber症候群

5. 下顎関節突起骨折について正しいのはどれか
- a. 咬合障害は認められない
 - b. 下顎歯列弓の不整は認めない
 - c. 診断には、MRI検査が必須である
 - d. 鼻横～上口唇の知覚鈍麻がみられる
 - e. 観血的整復固定術は、美容的意義が主である

6. 小児眼窩底骨折の記述で誤りはどれか

- a. 線状骨折が主体となる
- b. CTでは骨折が軽微なため見過ごされることも多い
- c. missing rectus sign は、2週間程度の経過観察の適用である
- d. 眼球上転障害、悪心、嘔吐があるときには下直筋の嵌頓を疑う
- e. 手術終了時には牽引試験 (forced duction test) を行い、下直筋の嵌頓がないことを確認する

7. 上眼窩裂症候群の症状に
当てはまらないものはどれか

- a. 開瞼障害
- b. 閉瞼障害
- c. 外眼筋麻痺
- d. 角膜反射消失
- e. 前額部知覚麻痺

8. 頬骨上顎骨複合体骨折で
整復の基準とならないものはどれか

- a. 頬骨弓
- b. 眼窩上縁
- c. 眼窩下縁
- d. 前頭骨頬骨縫合
- e. 蝶形骨頬骨縫合

9. Le Fort I 型分節骨切り術を行う際、
モデルサージェリーで作製した咬合スプリントで
規定されないものはどれか

- a. 上顎の横幅
- b. 上顎の前方突出
- c. 上顎の高さ (incisor show)
- d. 上顎咬合平面の水平面での傾き
- e. 上顎咬合平面の矢状面での傾き

10. 顔面への骨および軟骨移植について正しいものはどれか

- a. 顎裂部には海綿骨より皮質骨がよい
- b. 肋軟骨移植は術後の彎曲変形が少ない
- c. 眼窩底には頭蓋骨、腸骨などが用いられる
- d. 顔面粉砕骨折での一次骨移植は禁忌である
- e. 腸骨移植は頭蓋骨移植に比べて採取部の疼痛が少ない